

# ななくい

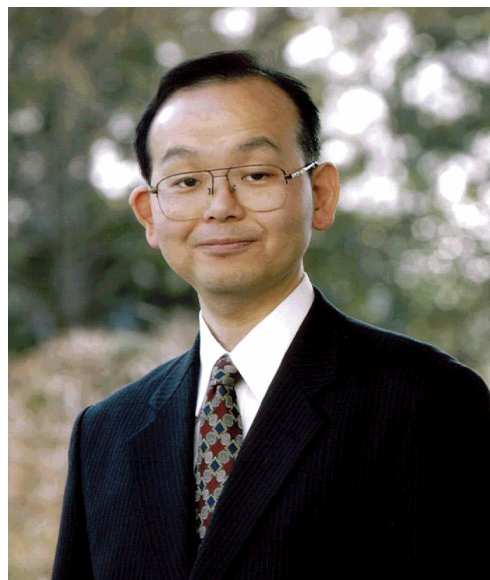
藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会編集 発行人 園田 茂  
〒514-1295 三重県久居市大鳥町向広424-1 電話 059-252-1555 (代表)  
ホームページ <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/> FAX 059-252-1383

## 七栗病院長新任の挨拶

皆様、七栗サナトリウムの新聞をお読み頂いて、ありがとうございます。平成15年2月1日より病院長を拝命しました園田です。これまで7年にわたり七栗を指揮していただいた渡邊教授の跡を継ぎ、皆様に信頼いただける病院となりますよう、一生懸命努力していきたいと思っております。

さて、病院は患者の皆様、地域に関与して初めて存在意義を持ちます。私たちは、その地域への貢献を、自分たちが得意としている分野、リハビリや緩和ケア、そして老年内科の専門性を高めることで実現しようとしています。

もちろん、直接地域と交流を持つ内科外来やデイケア、在宅介護支援センターなどの機能も今まで以上に努力して生きたいと思っております。その上での話しとなりますが、急性期病院などからの転院をきちんと引き受け、リハビリや緩和ケアを全うすることこそが当院の本質的なつとめだと考えています。



すなわち、地域の皆様との連携を、急性期病院を真ん中に挟む形で実現しようとしているわけです。

このような方向性を持った藤田保健衛生大学七栗サナトリウムを、どうぞよろしく願い申し上げます。

園田 茂

## 藤田保健衛生大学七栗サナトリウムに赴任して

2月1日付けで藤田保健衛生大学七栗サナトリウム看護部長を拝命いたし、藤田保健衛生大学病院より転勤して参りまして早3ヶ月がすぎようとしております。23年間すごささせていただいた藤田保健衛生大学病院とは違いはと思いつつ、看護管理室にはいつてきた私をまちうけていたのはオリエンテーションではなく、院長室において15年度の予算書についての審議でした。無我夢中で自分なりに考えをのべさせていただいたのですが、予算審議に参加したことで七栗サナトリウムが少し理解できたように思いました。

2階の広い廊下エリアを見た時に入院リハビリのイメージが変わりました。主に急性期の看護場面で患者さまとかかわってきた私にとって回復期病棟はかなり衝撃を受けました。残された機能を最大限活用するという言葉を安易に使っていた自分がはずかしくなりました。

看護、介護面をみますと患者さまの重症度に関係なく看護量が多いと思います。しかし量が多いからといって、看護の質をおろそかにしてはいけません。そのためにも、マンパワーの問題を解消すべく、人員確保に全力投球しなければならないと考えています。私は、現在、職員宿舎に住んでいます。若い頃の一人暮らしは自由で、ただただ楽しかったような気がしますが、年齢を経だてての一人暮らしはさ



みしいものです。しかし、春になり、暖かくなってきましたら、さみしさも少し落ち着いてきました。久居の道路になれたことも幸いしていると思います。今は週末になりますと湾岸道路の快適さを楽しんでいます。今、自分の感情に不思議なものを感じています。名古屋に帰り車庫に車を入れたら、ただいまと思い、久居の木々を見たらただいまとつぶやいているのです。この感情を楽しんでいこうと思っている今日この頃です。七栗の皆様、どうぞよろしく申し上げます。

近藤恵美子

# リハビリテーション講座 No1 リハビリテーションってなに

リハビリテーションセンター主任理学療法士 永井将太

皆さん、こんにちは。七栗サナトリウムリハビリテーションセンターの永井です。花粉症の方には辛い季節になってきましたが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか？さて、今日は連載第一弾として「リハビリテーションってなに」についてお話しさせていただきたいと思えます。

リハビリテーションという言葉は、俗に「リハビリ」と呼ばれ広く市民権を得てきたように思えます。皆さんはこのリハビリという言葉にどのようなイメージをお持ちですか？最近ではテレビ番組でもリハビリの紹介をよくしています。しかし悲しいかなこの手の番組の多くは、とかく「脳卒中から奇跡的回復」みたいなド派手なタイトルをつけたり、そのような内容構成をしてしまいますので、リハビリの本質が正しく伝わりません。リハビリは決して奇跡でもなんでもなく、科学的根拠と洗練された技術に裏付けられる医学なのです。

もう少し詳しく説明したいと思えます。リハビリの対象疾患には、脳卒中、脊髄損傷、骨折、リウマチ、変形性関節症、五十肩、腰痛などがあげられます。中でも脳卒中や脊髄損傷は重い後遺症が残りやすく、ご本人さんだけでなく、ご家族の方の生活を一変させてしまうので、リハビリの重要なターゲットになります。

脳卒中や脊髄損傷の代表的な後遺症には体や手足の麻痺があげられます。左右どちらかの手足が麻痺してしまう片麻痺、手足4本全て麻痺してしまう四肢麻痺、両足が麻痺してしまう対麻痺などが代表的です。また、脳卒中では記憶や言葉の障害も現れます。このような障害を少しでも良くし、そして患者さんやご家族の社会生活を再建していくことがリハビリの目的です。すなわちリハビリは、現代医療の中で「生活の障害」に焦点をあてたほぼ唯一の医学といえます。

ここまでお話をしますと、何となくリハビリというものが見えてくるのではないのでしょうか。具体的に言いますと、麻痺した手足や記憶・言葉の障害を少しでもよくするように訓練すること、また、麻痺した手足や言葉・記憶の障害に見合った新しい生活スタイルを確立していくことが「リハビリ」といえます。麻痺した手足を少しでも動くようにすることは重要なことです。私たちもこの

点に関して最大限努力しています。しかし、現代医学をもってしても、一度機能を失った神経細胞をもとに戻すということは難しいことです。そのため、麻痺した手足がすっかり元通りという訳にはなかなかいきません。またそれは年単位で時間を要すとても根気のいる作業です。ご存知のように近年は医療費の節減政策にともない、病院に入院できる期間は年々短くなっています。すなわち、脳卒中などで後遺症が残ったとしても、それを残したまま、新しい生活が始まる訳です。そこで、「手足の麻痺を少しでもよくする」という視点と同じくらい大切なことが「新しい生活スタイルを確立する」ということです。

では、新しい生活スタイルを獲得するためにはどうしたらよいのでしょうか。最も重要なことは「新しい動き方を覚える」ということです。これを「学習」といいます。学習は人間がもつ最も偉大な能力の一つといえます。例えば、右手が麻痺した場合、残った左手で箸を持ったり、字を書いたりします。最初は下手でも、練習するうちに徐々にうまくなっていきます。歩けなくなった患者さんが、杖を使用して歩けるようになる、これも学習です。このように、麻痺のない使える他の身体機能を巧みに使用し、新しい動き方を覚えていくことが重要です。また、食器をほんの少し工夫するだけでも食事がしやすくなりますし、手すりをつけるだけでトイレがやりやすくなることもあります。このように使える道具や環境面の整備もリハビリでは重要となります。

以上、簡単ではありますが、リハビリについて書かせていただきました。漠然とした「リハビリ」のイメージが少しは、はっきりしたでしょうか？今後もこのコーナーでは、当院で行っている最新のリハビリの紹介をしていく予定です。また、ホームページでも情報の提供に努めています。お時間があれば一度御覧下さい。

<http://www.fujita-hu.ac.jp/~rehabmed/nanakuri/>

## 外来医師担当表

平成15年5月6日 現在

	月	火	水	木	金	土
内科 午前	三浦講師	浅井教授	山本医師	山本医師	山田講師	交代制
午後	三浦講師	浅井教授	山田講師	三浦講師	山田講師	—
外科	渡邊教授	吉田講師	村井医師	渡邊教授	村井医師	吉田講師
リハビリテーション科	鈴木医師	園田教授	花村医師	清水医師	岡本医師	岡崎医師
東洋医学午前	栗岡講師	栗岡講師	—	栗岡講師	栗岡講師	栗岡講師
午後	栗岡講師	栗岡講師	—	—	栗岡講師	—
検査	腹部超音波	心臓超音波	—	腹部超音波	内視鏡検査	—
放射線科	CT	CT	消化器検査	CT	CT	—

## 講演会だより

### 津市南郊地区講演会

日時 平成15年5月16日（金）14時から

場所 三重県津市雲出市民センター 三重県津市雲出本郷1389  
（電話 059-235-0390）

演題 『健やかに老いるために』

講師 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 内科医師 山本隆一

### 久居市栗葉地区講演会

日時 平成15年5月20日（火）13時30分から

場所 久居市森町集会所

演題 「元気生活」応援します（転ばぬ先のつえ）

講師 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム

ケアマネージャー 川口ちづる

## 病院内の工事が始まります

### ご理解、ご協力よろしく申し上げます

平成15年4月中旬から8月下旬にかけて院内の工事を予定しています。

大きな工事となるため患者様には大変ご迷惑をおかけしますがご理解、ご協力お願いいたします

なお、詳しい工事日程は決定し次第掲示いたします。